



## 気球に乗ってどこまでも

6月22日（水）、生憎の梅雨空でしたが、昼休みの校庭は、いつも通り元気に駆け回る子どもたちの姿で一杯でした。写真左は新しく着任された長谷本先生。自己紹介で「スポーツが大好き！」とおっしゃっていただけあって、早速子どもたちと一緒に校庭を駆け回っていました。また、写真中は教育実習生の八城先生。6年4組で教育実習をしてきましたが、残りあと3日となりました。子どもたちと一緒に校庭で遊ぶ姿に（きっとよい先生になるだろうなあ）という期待が膨らんでいきます。



さて、6月20日（水）の朝は、今年度初めての音楽集会が行われました。発声練習に続いて早速『気球に乗ってどこまでも』を学級ごとに歌いました。コロナ禍でなければマスクをとって、思い切り声を出させたいところですが、今はそれが叶いません。それでも、やはり歌は子どもたちを元気にする力がありますね。写真右は3年生の様子。途中の手拍子のところでは、楽しそうに取り組む子どもたちの姿がとても印象的でした。



そして、教室で見事な指揮を披露していたのは麻衣先生。麻衣先生だけでなく、ほとんどの先生方が教室で子どもたちの前で指導をする姿に、先生方が音楽部の先生方と一緒に朝の音楽集会を創り上げている様子が伝わってきました。それにしても靖子先生の美声は見事です。小野小の子どもたちにとっては何よりの生きた教材です。

コロナの影響が少しずつ少なくなっているとはいえ、まだまだ感染症対策は気が抜けません。それでも、写真のように、友だちとの間隔を十分に取りながら、今年も屋外での器楽演奏が始まりました。写真は3年生の皆さんの様子、専科の靖子先生と担任の寺林先生が二手に分かれてリコーダーの練習に取り組んでいました。今年は秋に「音楽発表会」を予定しています。小さな継続と積み重ねで、子どもたちが音楽を楽しむ姿や、生き生きと表現する姿を保護者の皆様に伝えたいものです。